

佐渡市学校教育基本構想

総論

学校教育の展望

1 学校教育の現状

佐渡は、かつては「教育の島」と呼ばれ、有為な人材を数多く輩出してきました。しかしながら、近年過疎化が進み、少子高齢化が進む中、佐渡を担う人材の育成が重要な課題となっています。また、佐渡においても学力問題、いじめ・不登校・暴力行為、規範意識の低下による犯罪の低年齢化、生活習慣の乱れ、体力の低下等の問題発生は例外ではありません。これまで学校を支えていた家庭や地域の教育力が低下するとともに、相互の信頼関係も希薄化してきています。

このような現状を踏まえ、佐渡の将来を担う子どもたちへの教育が重要視され、学校を豊かな学びの場としていくために期待が高まってきています。今こそ教育にかかわる人々が相互に連携し、新しい時代に生きる子ども一人一人の成長を励まし支える学校の実現が求められています。

2 学校教育の課題

今日の学校教育に求められているものには、確かな学力の定着、豊かな社会性・人間性の醸成、たくましく生きるための体力の向上があります。この知育、徳育、体育が調和した教育を踏まえ、自立心と協調性に満ちた生涯学び続ける子どもの育成が必要です。

そのためには、基礎・基本の定着、佐渡を学び郷土を愛する心情の育成、倫理観・規範意識の確立、生活習慣の改善等、佐渡の未来を拓く人づくりに創意と工夫を凝らして取り組まなければなりません。

3 学校教育の方向

島の豊かな自然、薫り高い文化に満ちたよさを生かし、子どもが自信と意欲をもって学び、夢と力をはぐくむ魅力ある学校の実現を目指します。

そのために情熱と使命感をもった教師の育成はもちろんのこと、学校の環境整備と教師の創造性を支援する教育行政の推進により、保護者や地域の理解と協力に支えられた信頼される学校づくりに取り組んでいきます。

佐渡市の学校教育

1 意欲をもち、確かな学力を付ける教育

全国標準学力検査等による学力は、基礎学力の徹底に向けた継続的な取組を通して基礎・基本の定着が図られ、年々向上してきました。しかしながら、意欲的な学習態度、主体的な思考力・判断力・表現力の育成は、まだ十分とは言えません。教科の学習と総合的な学習の時間との関連・充実を図りながら、自ら学び自ら考える力としての「生きる力」の育成を目指します。

2 郷土を愛し、夢と誇りをもつ教育

ふるさと佐渡に焦点を当てた教育実践が着実に積み重ねられ、その成果は、保護者や地域に好意的に受け止められています。人々との交流が深まり、子どもの学びに対する人的支援は充実してきました。教育行政による支援体制も総合学習支援事業等を通して継続に努めます。佐渡のよさを知り、夢と誇りをもち続けられる子どもの育成を目指します。

3 生きがいを見付け、自立を目指す教育

充実した学校生活を通して学ぶことの意味を見出し、自己の生きがいを見付け出せる子どもを育てたいと願っています。将来に対する見通しや自覚をもちにくい現状の中、望ましい職業観や勤労観をはぐくみ、主体的に進路を選択していく能力や態度の育成を目指します。

各 論

意欲をもち、確かな学力を付ける教育の充実

知育、徳育、体育が調和した教育の一層の充実を目指し、以下の重点事項に取り組みます。

1 自ら学ぶ意欲をもち、学力の向上を図る教育の推進

基礎学力を一層徹底し、基礎・基本の定着を図り、学習意欲を高めるために「分かる授業」に向けた授業改善を進めます。

思考力・判断力・表現力の一層の伸長を図るための指導を工夫・改善します。

一人一人に応じた少人数指導や習熟度別指導を工夫するとともに、複式指導の充実を図ります。

知性を広げる読書を奨励し、家庭における学習習慣の定着を図ります。

2 かかわりを通して、豊かな心を育成する教育の推進

自然や生き物とふれあう、人や地域とかかわるなど、体験活動を通して豊かな心の育成を図ります。

家庭や地域と一体になって、倫理観や規範意識をはぐくむ心の教育の充実を図ります。

生活や学びの連続性を図るために、幼稚園(保育園)、小学校、中学校、高等学校の交流や連携を進めます。

3 体力の向上を図り、活力ある生活を送る教育の推進

体力の実態に基づく課題を明確にし、体力向上を図るための校内体制づくりを進めます。

食育や安全な生活に対する関心を高め、望ましい生活習慣の形成を図ります。

郷土を愛し、夢と誇りをもつ教育の充実

佐渡固有の自然、歴史、文化を学ぶ教育（佐渡学）の一層の充実を目指し、以下の重点事項に取り組みます。

1 佐渡の自然を学ぶ教育の推進

課題をもって地域の自然を追究し、環境に対する意識を高め自らが主体的に実践する力を伸ばします。

トキの野生放鳥化に向けた取組について理解し、環境保全に対する意識を高めます。

2 佐渡の歴史を学ぶ教育の推進

課題をもって地域の歴史を追究し、学んだ成果を島内外に発信する力を伸ばします。

佐渡金銀山が培った歴史や産業について理解し、歴史的遺産に対する意識を高めます。

3 佐渡の文化を学ぶ教育の推進

課題をもって地域の文化を追究し、受け継ぎ、発展させていく力を伸ばします。

佐渡に伝承されている工芸・芸能などに関する「本物」との出会いを通して豊かな感性を磨きます。

生きがいを見付け、自立を目指す教育の充実

佐渡の将来を担う人材育成に向けた教育の一層の充実を目指し、以下の重点事項に取り組みます。

1 望ましい職業観をはぐくむ教育の推進

起業意識や地域の産業を担う人材育成の視点に立ったキャリア教育を進めます。

自己の個性を理解し、将来の生き方や進路の選択を踏まえた自己決定能力を伸ばします。

2 国際化や情報化に対応した教育の推進

A L T（外国語指導助手）を積極的に活用した言語活動を通して小学校から中学校へ連続した英語教育の充実を図ります。

ネットワーク構築による適切な情報活用能力の育成と情報モラルの向上を図ります。

3 社会に貢献する主体となる教育の推進

福祉など様々な社会的課題を認識し、その解決に向かって主体的に行動する態度を育成します。

地域行事やボランティア活動への参加など、互いに支え合う社会生活の場を実感できる機会の充実を図ります。

学校教育の基盤整備と充実

学校教育を支える基盤の整備と一層の充実を目指し、以下の重点事項に取り組みます。

1 学校施設の整備と充実

教育センターを設置し、指導基盤の整備と充実に努めます。
適正規模を目指した学校統合の推進に努めます。
教育効果を高める施設・設備の充実と、安心・安全な学校環境の整備に努めます。

2 学校組織の整備と充実

少人数指導やチーム・ティーチング（複数の教師が学習指導に当たる指導形態）など多様な指導形態を可能にする教員組織を整えるとともに、補助教員や介助員などの適正配置に努めます。
相談員等の配置や外部機関との連携により、生徒指導上の課題に対応できる支援体制の整備に努めます。

3 学校教職員の資質向上

教師の資質や指導力を高める研修体制の整備に努めます。
学年差や極少人数の指導等に対応する複式指導研修の充実に努めます。
特別支援教育、国際理解教育、人権教育、同和教育などの今日的課題に対応した研修内容の充実に努めます。

4 学校・家庭・地域の連携

学校・家庭・地域がともに参画する開かれた学校づくりの推進に努めます。
学校、地域で安心して学習や生活ができる地域ぐるみの安全体制の整備に努めます。